

元春日小学校発掘調査現場資料

平成 27 年 10 月 31 日 (土)

遺跡名：寺町旧域・御土居跡

所在地：京都市上京区丸太町通河原町西入高島町 3 3 5 番地他 (元京都市立春日小学校内)

調査対象面積：約 1,880 m² (1 区約 1,380 m²、2 区約 500 m²)

調査期間：平成 27 年 8 月 3 日～平成 28 年 3 月 31 日

遺跡の概要：調査地は、寺町旧域および御土居跡にあたります。豊臣秀吉は天下統一後、京都市街の大改造に取りかかり、天正 19 年 (1591) に京都の周囲に堀と土塁をめぐらせる「御土居」を形成しました。また、この頃、鴨川沿いに作られた御土居の内側 (西側) に、京内にあった寺院を集め、寺町の造成が進みました。調査地の周辺は平安京の東京極にあたるるところから京極寺町とよばれています。寺町は、宝永 5 年 (1708) の大火により大きく改変され、調査地周辺の寺々は鴨東に移転され、跡地に町屋が形成されます。江戸時代後期の絵図には、当地は代々文章博士を務める公家高辻家の名が記されています。明治 10 年 (1877) には番組小学校が伊勢屋町から当地に移転し、のち京都市立春日小学校となりました。

なお、調査地の北方には平安時代に藤原道長によって建立された法成寺があり、その南には「東朱雀大路」と呼ばれた道路が南北に通っていたとされ、調査地はその沿道にもあたります。

調査の概要：周辺では近年、同志社大学新島会館や京都市歴史資料館、京都府立鴨沂高校などで発掘調査が行われており、江戸時代の町屋や寺院に伴う建物跡、墓地などが見つかり、陶磁器・石仏・銭貨などが出土しました。今回の調査でも、宝永 5 年の被災面、天明 8 年 (1788)、元治元年 (1864) の大火による廃材を捨てたごみ穴、町屋に伴う井戸、公家屋敷に伴う土蔵・庭園、寺院に伴う井戸・墓地とみられる遺構などが見つっています。出土遺物には、陶磁器・瓦・土人形・銭貨・ガラス製品・墓石・五輪塔などがあります。



図 1. 調査地点位置図 (1:5,000)

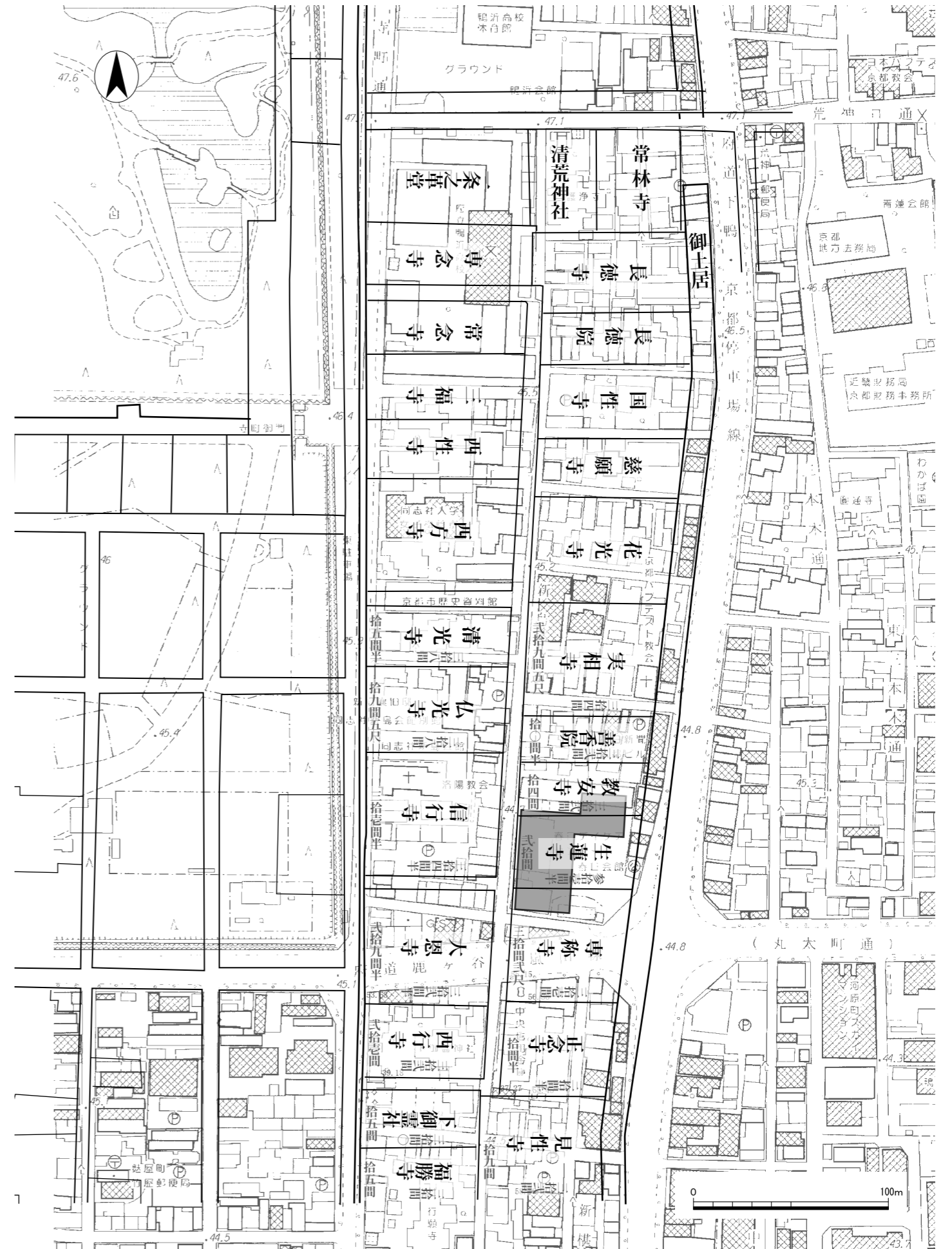
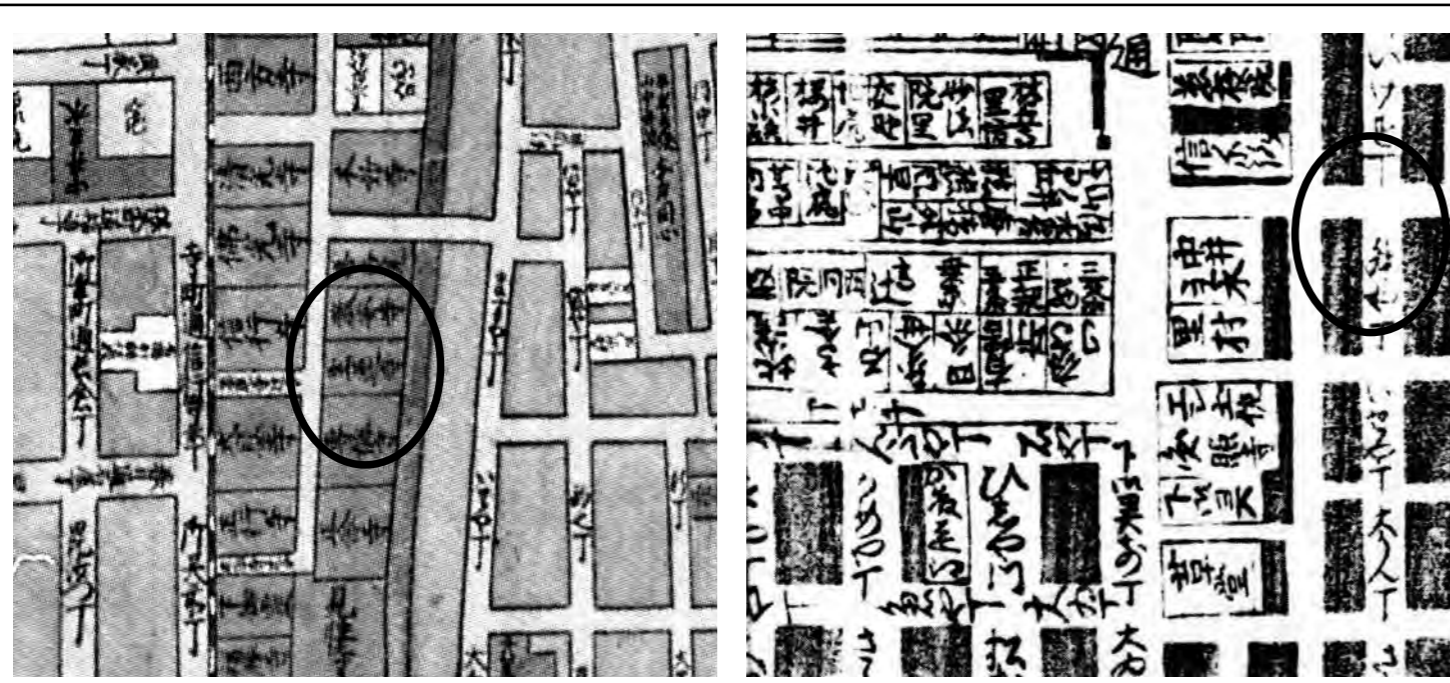
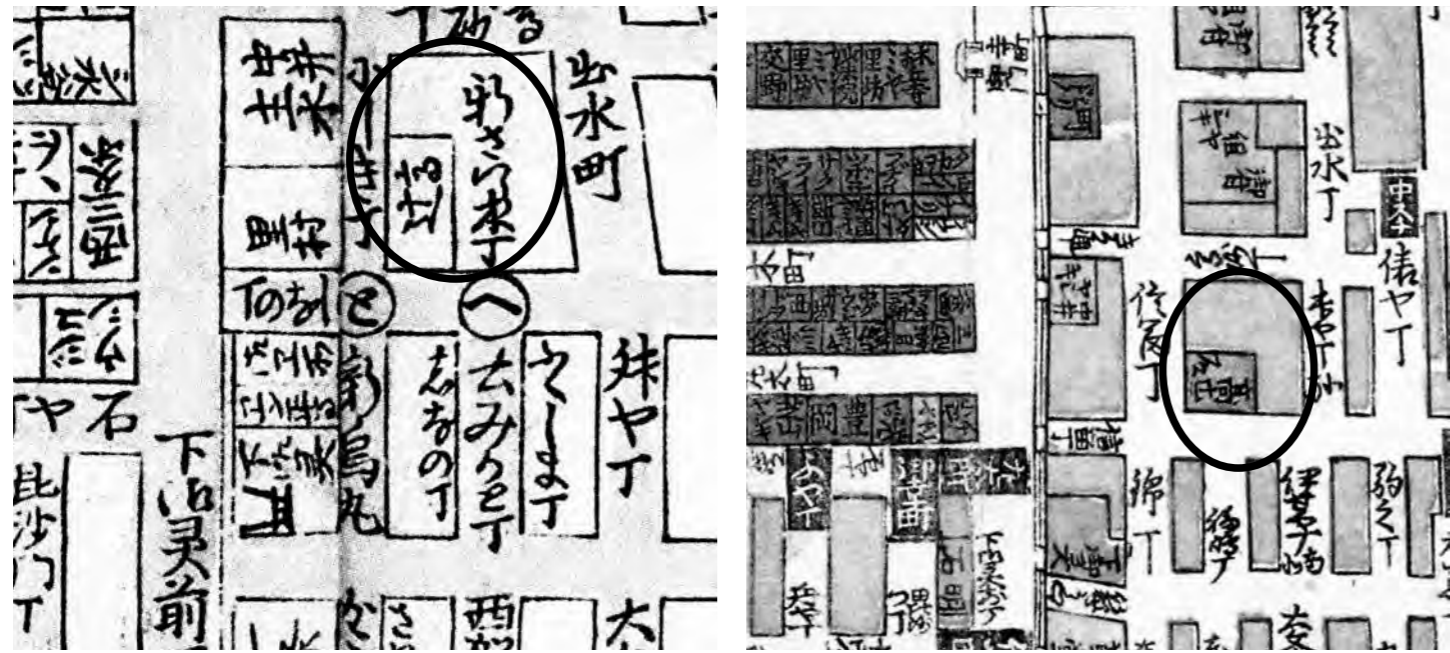


図 2. 現在の地図と寛永 14 年 (1637) の古地図を重ね合わせたもの (1:2,500)



①実測大絵図 元禄14年(1701)

②京大絵図 宝永6年(1709)



③京大絵図 寛保元年(1741)

④改正京町絵図細見大成 天保2年(1831)

※『慶長昭和京都地図集成：1611(慶長16)年～1940(昭和15)年』 1994年 柏書房より転載

図3. 調査範囲の1701年～1831年までの古地図から見た土地の変遷
(各古地図の縮尺は任意)



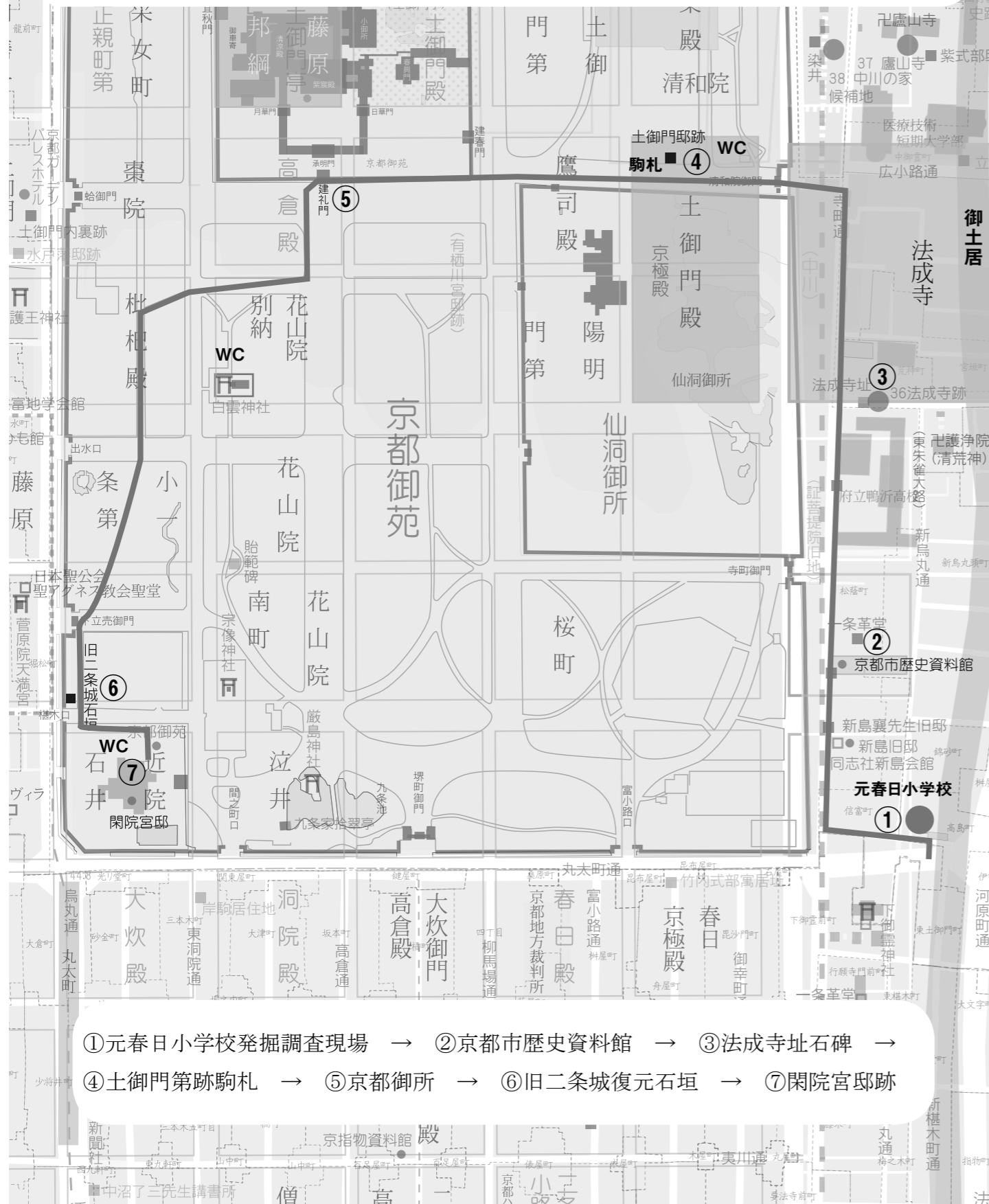
図4. 調査範囲の全景(北東から)



図5. 発掘された公家屋敷の池跡(北から)

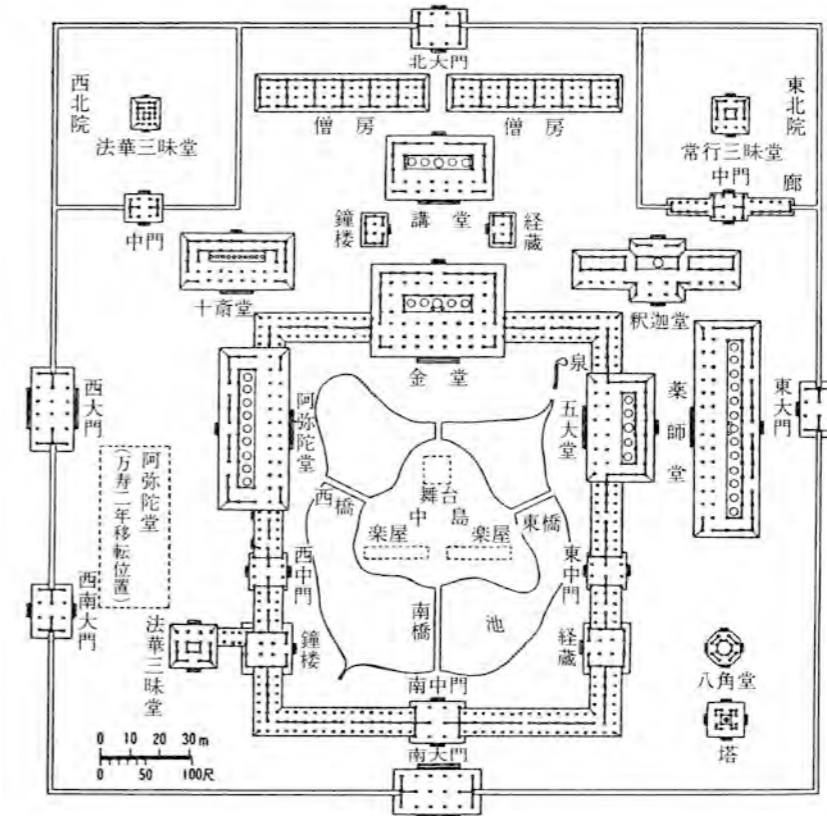
現地講座 京都御苑周辺の史跡と遺跡—発掘調査現場見学とともに—

平成 27 年 10 月 31 日 (土)



①元春日小学校発掘調査現場 → ②京都市歴史資料館 → ③法成寺址石碑 →
④土御門第跡駒札 → ⑤京都御所 → ⑥旧二条城復元石垣 → ⑦閑院宮邸跡

③法成寺跡

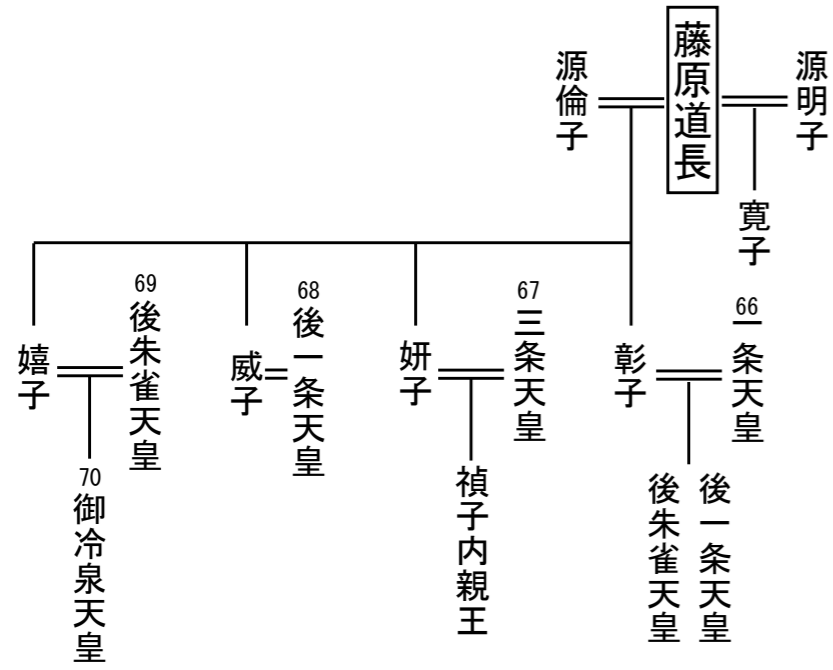


法成寺伽藍復元図 (『平安時代史事典』下 1994 年を転載)

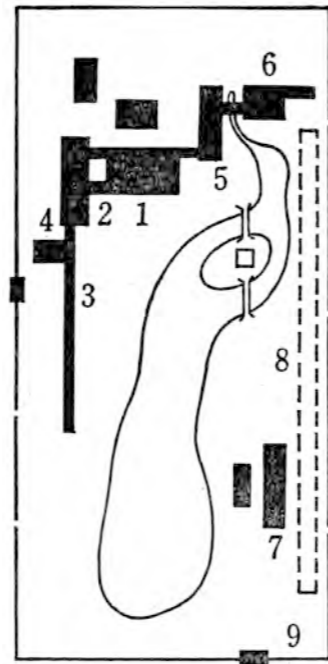
法成寺の沿革 (『平安時代史事典』下 1994 年を参照)

和暦	西暦	出来事
寛仁 3	1019	3 月 藤原道長が出家し、土御門第の東に九体阿弥陀堂を建立。
寛仁 4	1020	3 月 落慶供養が行われ「無量寿院」と呼ばれる。位置は東京極大路東、近衛末路北、土御門末路南、鴨川堤防西の方二町とされる。
治安 2	1022	7 月 金堂と五大堂が竣工。金堂に「法成寺」の扁額が掲げられ、無量寿院は阿弥陀堂だけの名前となった。その後、講堂、薬師堂、十齋堂、経蔵、僧房等が次々に落成した。
万寿 4	1027	死に臨んだ道長は阿弥陀如来と糸で結ばれ、念仏を唱え往生した。道長の妻源倫子は北西に「西北院」、娘彰子(上東門院)は北東隅に「東北院」を造営した。
康平元	1058	2 月 全域が焼亡。藤原頼道が再建に着手。
康平 2	1059	10 月 阿弥陀堂と五大堂が落慶供養。
承暦 3	1079	東西二塔、講堂、十齋堂、法華堂が落慶供養。
寛治 5	1091	8 月 7 日 大地震で建物、仏像が損傷を被る。
永久 5	1117	正月 東西両塔と南大門が炎上。
文治元	1185	7 月 大地震により阿弥陀堂と金堂が損傷。
承久元	1219	4 月 2 日 堂舎五宇、東塔、惣社、南大門が炎上。
元徳 2 頃	1330 頃	『徒然草』に荒廃の様子が記される。
元弘元	1331	10 月 無量寿院(阿弥陀堂)が炎上し、法灯が消える。

④土御門第



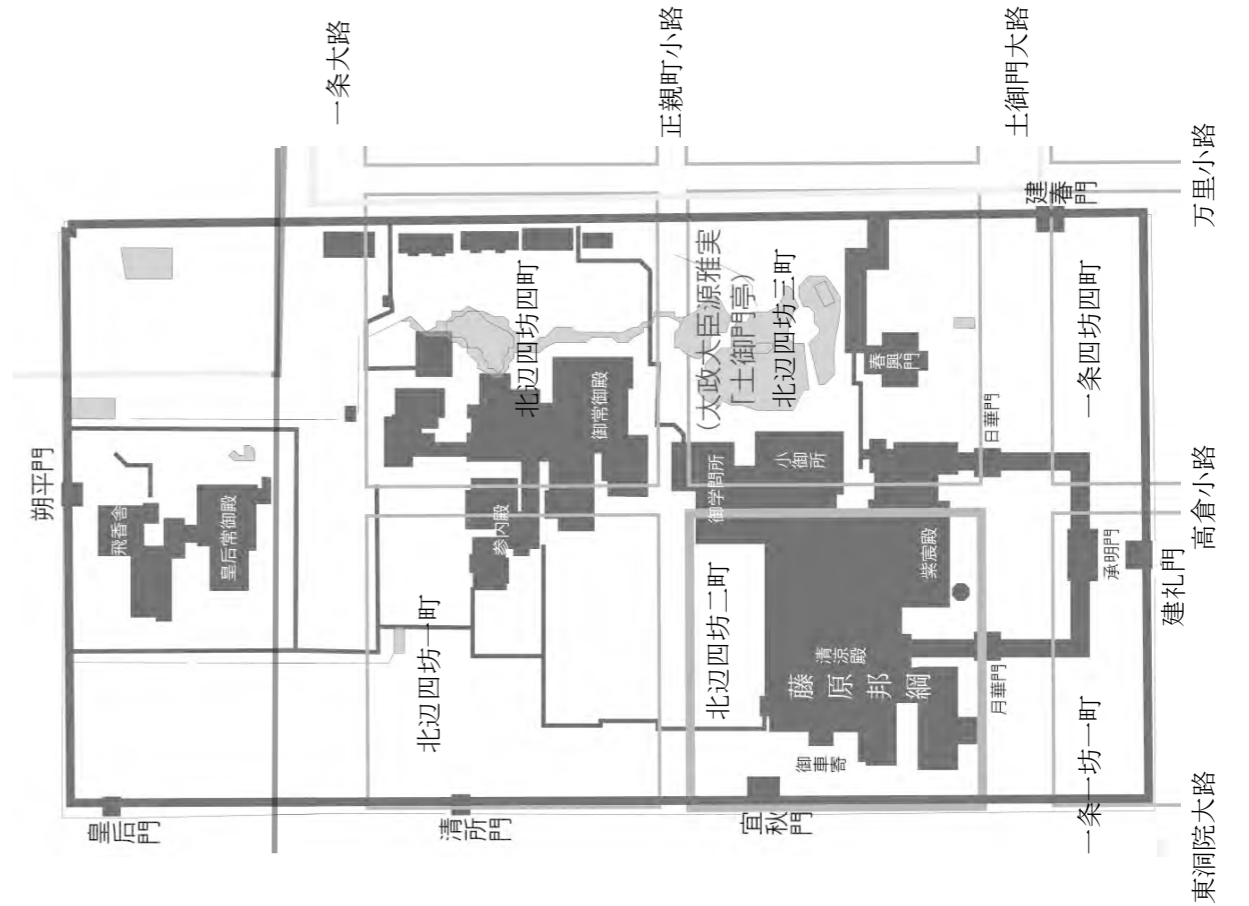
藤原道長関連系図 (数字は皇位)



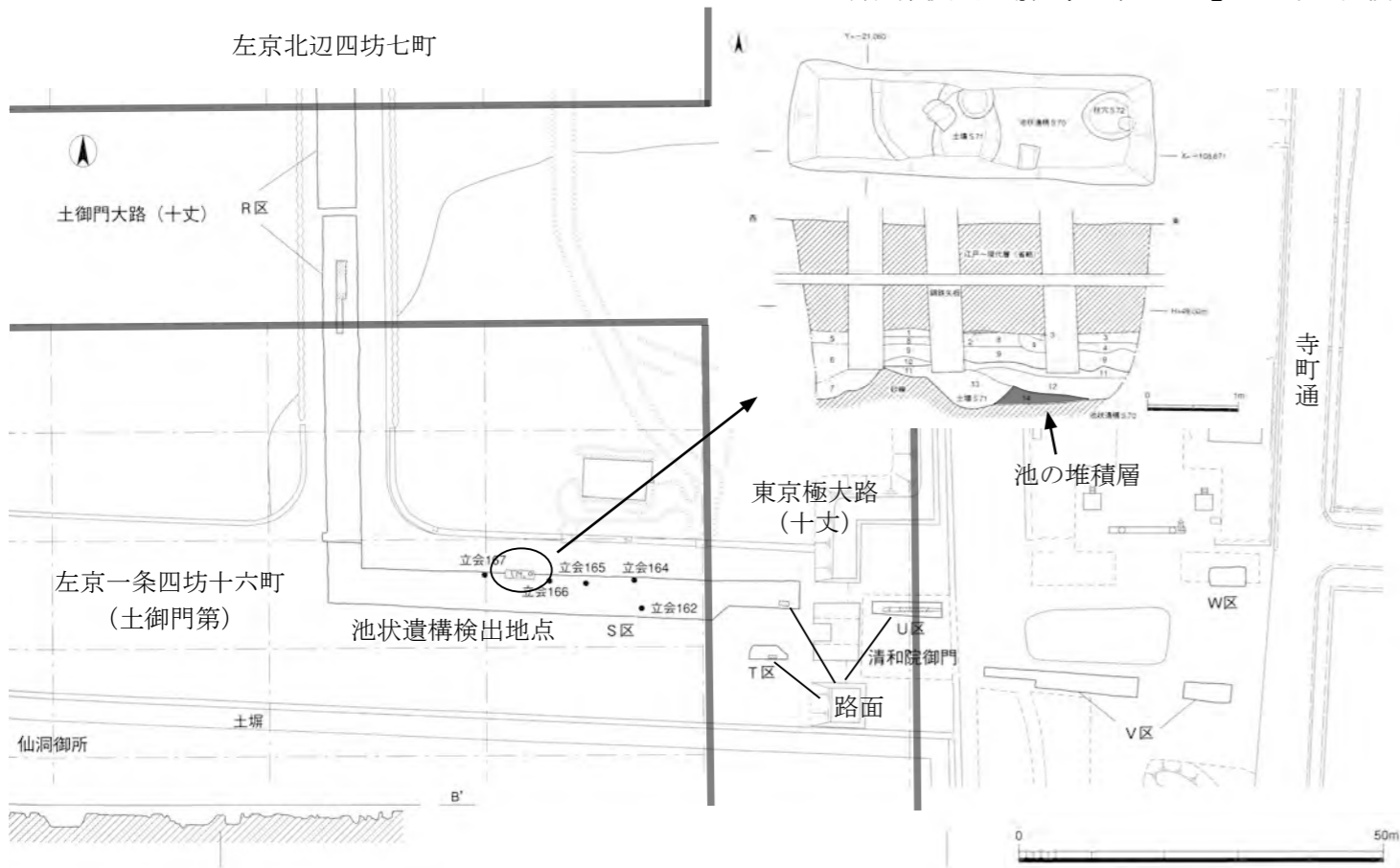
- 1. 寝殿
- 2. 西対
- 3. 西中門、中門北廊
- 4. 中門西廊
- 5. 東対
- 6. 堂
- 7. 馬場殿
- 8. 馬場
- 9. 馬場末門

土御門第復元図 (『院家建築の研究』1981年を転載)

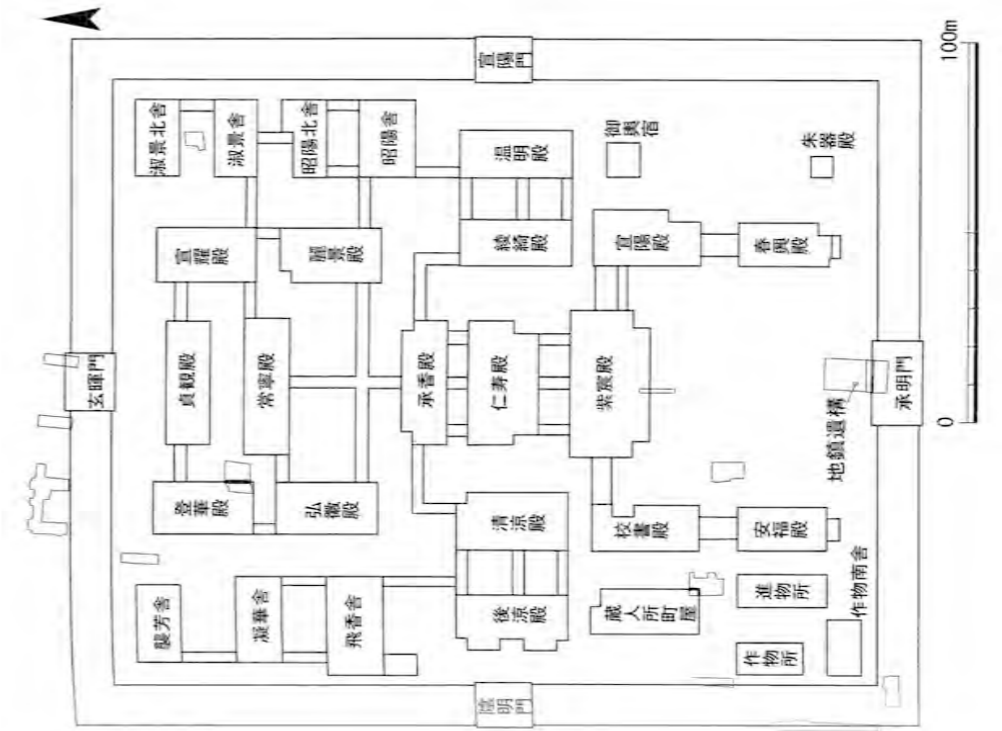
⑤京都御所



京都御所平面図



土御門第北東部の池状遺構 (『平安京左京北辺四坊』京都市埋蔵文化財調査報告第22冊 2002年 付図2と第1分冊から調整)



平安京内裏内郭復元図 (『平安京』京都市文化財ブックス第28集 2014年を転載)

⑥旧二条城復元石垣

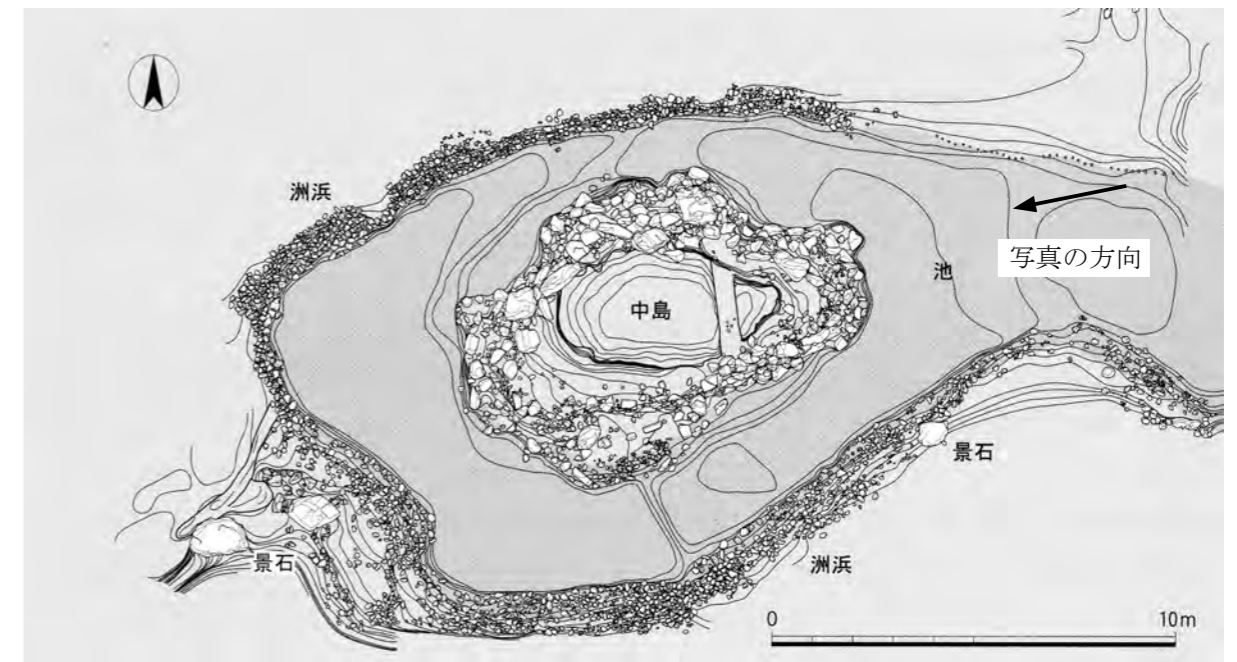


旧二条城復元図（『第256回京都市考古資料館文化財講座』2014年を転載）



旧二条城南外濠石垣（『京の城』京都市文化財ボックス第20集 2006年を転載）

⑦閑院宮邸跡



閑院宮邸跡園池平面図（『リーフレット京都』No.276 2011年を転載）



閑院宮邸園池全景（東北東から）